

令和３年の火災・救急・救助概況について（速報）

令和３年中の津市内における火災・救急・救助概況の速報は、下記のとおりでした。（令和３年中の数値は速報値となります。）

令和４年１月４日

津市消防本部

記

１ 火災（担当：予防課違反指導担当／電話０５９－２５４－０３５６）

令和３年中に市内で発生した火災は９３件で、そのうち住宅火災は２９件でした。また、火災による死者は６人で、住宅火災による死者は５人でした。

火災原因については、全体では「たき火」、「放火の疑い」、「たばこ、火入れ」の順に多く、住宅火災では、「ストーブ」が最も多く、続いて「たばこ、配線器具」でした。

これを踏まえ、放火対策やたき火からの延焼、ストーブの取扱い、寝たばこ、たこ足配線など、注意すれば防げる火災を起こさないように広報紙やイベント等、機会を捉えて広報するとともに、住宅火災で亡くなる人の多くは高齢者であることから、逃げ遅れによる死傷者を無くすために、住宅用火災警報器の設置及び維持管理について普及啓発に努めていきます。

（１）火災概況

▲は減を示す

区 分		令和３年	令和２年	増減
火災件数合計（件）		93	103	▲10
火災種別 (件)	建 物 火 災	44	43	1
	(内) 住宅火災	29	27	2
	林 野 火 災	3	3	0
	車 両 火 災	12	12	0
	その他の火 災	34	45	▲11
死 者（人）		6	5	1
(内) 住宅火災		5	4	1
負 傷 者（人）		3	5	▲2

(2) 参考（平成 24 年以降の年間火災件数）

年	件数
令和 3 年	93
令和 2 年	103
令和元年	115
平成 30 年	135
平成 29 年	121
平成 28 年	112
平成 27 年	117
平成 26 年	122
平成 25 年	168
平成 24 年	127

2 救急（担当：消防救急課救急担当／電話０５９－２５４－１６００）

令和３年中の市内における救急出動件数は１４，６７１件で、前年と比較して４２９件増加しました。

種別（その他を除く）でみると、例年同様急病が９，５００件と最も多く、次いで一般負傷の２，４３５件、交通事故の９２１件の順となっています。

令和２年は、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う外出の自粛により、救急出動件数が減少傾向にありましたが、令和３年に入って新しい生活様式を実践しながら徐々に日常を取り戻しはじめたこともあり、昨年に比べると増加しました。

現在、新型コロナウイルス感染症第５波は収束しましたが、第６波に備えて引き続き感染対策に努めましょう。

(1) 救急概況

▲は減を示す

区 分	令和３年	令和２年	増減
出動件数（件）	14,671	14,242	429
搬送件数（件）	12,931	12,866	65
不搬送件数（件）	1,740	1,376	364
搬送人員（人）	13,003	12,953	50

(2) 救急種別件数

（単位：件）▲は減を示す

種 別	令和３年	令和２年	増減
火 災	5	7	▲2
自然災害	0	0	0
水 難	10	9	1
交通事故	921	934	▲13
労働災害	128	127	1
運動競技	61	26	35
一般負傷	2,435	2,462	▲27
加 害	41	47	▲6
自損行為	134	88	46
急 病	9,500	9,185	315
そ の 他	1,436	1,357	79
合 計	14,671	14,242	429

(3) 参考（平成 24 年以降の年間救急出動件数）

年	件数
令和 3 年	14, 671
令和 2 年	14, 242
令和 元年	15, 899
平成 3 0 年	16, 445
平成 2 9 年	14, 901
平成 2 8 年	14, 716
平成 2 7 年	14, 306
平成 2 6 年	14, 229
平成 2 5 年	14, 196
平成 2 4 年	13, 849

3 救助（担当：消防救急課消防救助担当／電話０５９－２５４－１６０１）

令和３年中の市内における救助出動件数は１８７件で、前年に比べ３８件増加しました。

種別でみると、最も多かったのが交通事故の８９件で、これは全体の４８パーセントを占め、過去数年で最も多い割合となっています。

また、建物等による事故は、全国的にも増加傾向にあり、市内でも５１件発生、交通事故に次いで２番目に多い件数となっています。

建物等による事故の原因の多くは、「高齢者が建物内に居られるが、外からの呼びかけに応答がない。」（安否が確認できない）というものでした。

(1) 救助概況

▲は減を示す

区 分	令和３年	令和２年	増減
出動件数（件）	187	149	38
活動件数（件）	132	85	47
救助人員（人）	120	86	34

(2) 救助種別件数

（単位：件）▲は減を示す

種 別	令和３年	令和２年	増減
火 災	3	0	3
交通事故	89	66	23
水難事故	6	7	▲1
風水害等自然事故	0	0	0
機械による事故	1	1	0
建物等による事故	51	49	2
ガス及び酸欠事故	0	1	▲1
破裂事故	0	0	0
その他の事故	37	25	12
（内）山岳	8	11	▲3
合 計	187	149	38

(3) 参考（平成 2 4 年以降の年間救助出動件数）

年	件数
令和 3 年	187
令和 2 年	149
令和 元 年	187
平成 3 0 年	138
平成 2 9 年	129
平成 2 8 年	137
平成 2 7 年	105
平成 2 6 年	126
平成 2 5 年	130
平成 2 4 年	113